

議 事 概 要 書

令和5年度第2回玉野市史編さん委員会 会議録

開 催 日 時	令和5年11月27日(月) 10:00~11:45
開 催 場 所	玉野市役所 特別会議室
出 席 委 員	市史編さん委員会委員 委員長他6名(欠席委員 1名)
傍 聴 の 可 否 (非公開の理由)	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	<p>1 開会 2 委員長挨拶 3 協議</p> <p>(1) <u>執筆要領(案)</u> (事務局説明)</p> <p>(事務局) 前回の委員会で、年(和暦)は「十」を入れるが状況に応じて柔軟に対応することとした。また、和暦以外の数詞(和数字)については、「十」「百」「千」は無しとする。</p> <p>(委員) 発言を引用する場合、2段差にしてはどうか。</p> <p>(事務局) 答弁等の発言部分については「 」とし、引用については、本文より頭を2字下げる。</p> <p>(委員) 副詞等の表記について、漢字と平仮名か整理してはどうか。</p> <p>(事務局) 「殊に」「更に」「甚だ」「専ら」「僅か」「又は」「若しくは」は平仮名表記で統一する。</p> <p>(全委員) 上記内容で了承。</p> <p>(2) <u>目次構成(案)</u> (事務局説明)</p> <p>(委員) 第1編はページ数が限られており、玉野市史と東児町史の内容をまとめる方が理解しやすく有効と思う。 また、細目次のうち「先土器」とあるのは「旧石器」に訂正し、飛鳥時代と奈良時代は一つにまとめる方がよいと考える。</p> <p>(事務局) 第1編のページ配分は40ページとし、第1章(原始)～第4章(近世)においては各章5ページ、第5章(近現代)については20ページを想定している。 第1章(原始)～第4章(近世)までは、節は不要とし、各時代名等は小見出しとする。</p>

	<p>(委員) 第4章については「江戸時代」という表記が必要と思う。</p> <p>(委員) 第1編は読んだ人の興味を引くものとなれば良いのではないかと考える。</p> <p>(委員) 社会構造から第1編の構成を第3章としてはどうか。</p> <p>(事務局) 第1章原始～近世、第2章近代、第3章現代（戦後～昭和45（1970）年）で再編成する。 委員の修正案等、主に第1編の章立てを再編成し、次回委員会で協議する。</p> <p>(3) 新市史の名称（書名）について (事務局説明)</p> <p>(委員) 複数ある名称案のうち「玉野市史Ⅱ」はシンプルで既刊の玉野市史に続くものとして位置づけられ、違和感はないと思う。</p> <p>(全委員) 了承</p> <p>(3) その他 (事務局) 第3回編さん委員会は、令和6年2月20日頃に開催予定とする。</p> <p>4 閉会</p>
特記事項	無
事務局	玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329